

# もうSELinuxは怖くない！

～セキュアLinux徹底解説～

日本セキュアOSユーザ会 海外浩平 <kaigai@kaigai.gr.jp>

# SELinuxって何でしょう？

- **強制アクセス制御**により、システムに格納された**情報資産**を、漏えい／改ざんといった**脅威**から保護する Linux カーネルの機能。



情報資産？脅威？

強制アクセス制御？

何か難しいこと  
言ってるな...？

➔ 急がば回れ

- 先ずは、背景にあるセキュリティの思想から理解しましょう。

# “セキュリティ”とは



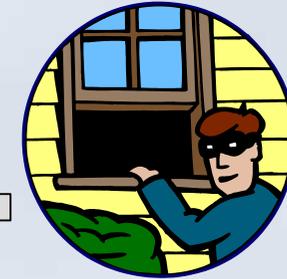
情報資産



セキュリティ



リスク



脅威

- 情報資産 = 価値あるもの / 守るべき対象
- 脅威 = 情報資産の下記特性が満たされなくなる事
  - 機密性 ... 適切な権限のない利用者に情報が漏えいする事
  - 完全性 ... 適切な権限のない利用者が情報を改ざんする事
  - 可用性 ... 必要な時に、必要な情報を利用する事ができる事
- リスク = 脅威が顕在化する可能性

セキュリティ = リスクを減少させるための手段

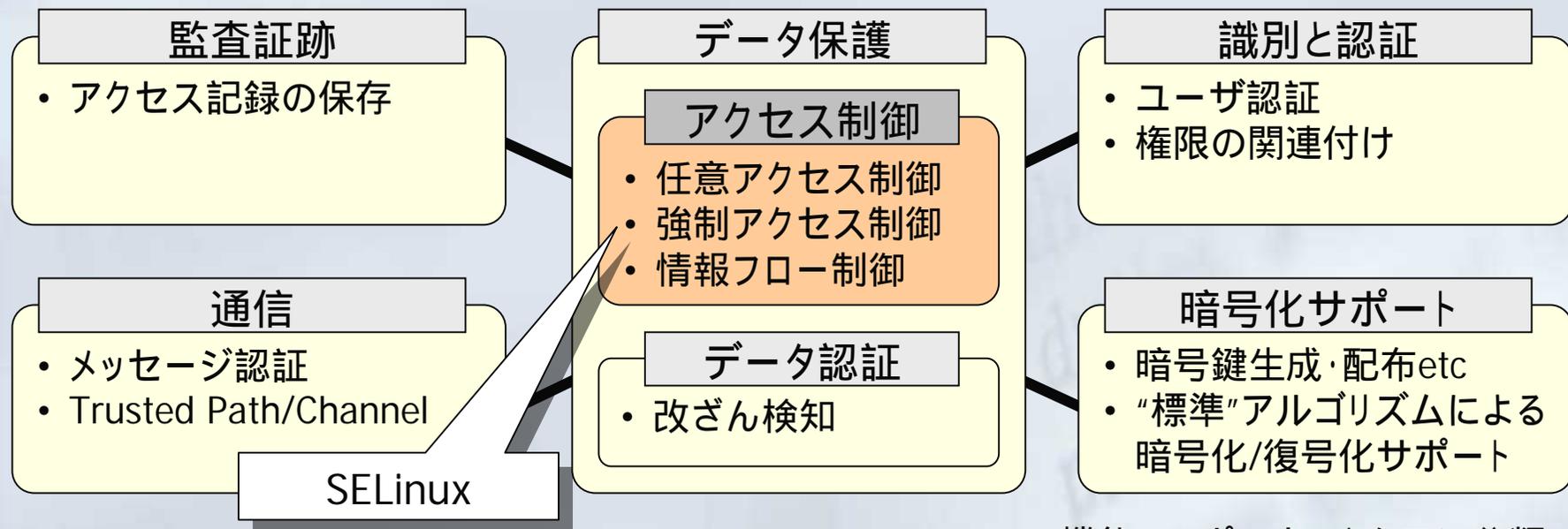
# セキュリティ対策

## ■ 非技術的対策

- システム運用方針、システム利用環境、従業員教育、etc...

## ■ 技術的対策

- アクセス制御、認証、暗号化、etc...



ISO/IEC15408の機能コンポーネントを元に分類

# SELinuxって何でしょう？

- **強制アクセス制御**により、システムに格納された**情報資産**を、漏えい / 改ざんといった**脅威**から保護する機能

SELinuxの提供する強制アクセス制御とは何か？  
なぜ、それが必要なのか？



強制アクセス制御？

何か難しいこと  
言ってるな...？

➔ 急がば回れ

- 先ずは、背景にあるセキュリティの思想から理解しましょう。

# 2種類のアクセス制御

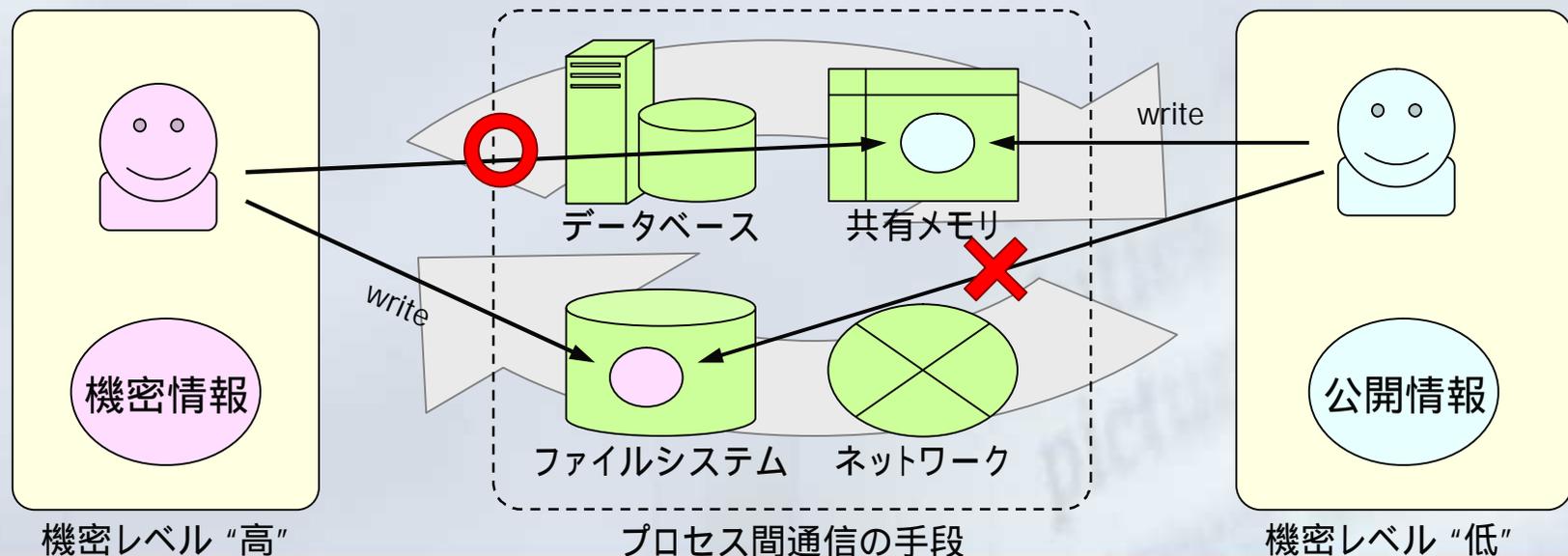
- 任意アクセス制御 (DAC: Discretionary Access Control)
  - 伝統的 UNIX アクセス制御モデル
  - 資源(ファイル)の所有者は、任意にアクセス権を変更できる
    - \$ `chmod o+r ~/my_secret_file.txt`
  - root ユーザには、“任意アクセス制御”を無視できる“特権”
- 強制アクセス制御 (MAC: Mandatory Access Control)
  - SELinuxのアクセス制御モデル
  - 資源の所有者であっても、アクセス権を(任意には)変更できない
    - **セキュリティポリシー**により、アクセス権は“強制的に”設定される。



- なぜ？ アクセス権を“任意に”設定できてはいけないのか？
- なぜ？ root ユーザの権限を縛らなくてはならないのか？

# 情報フロー制御

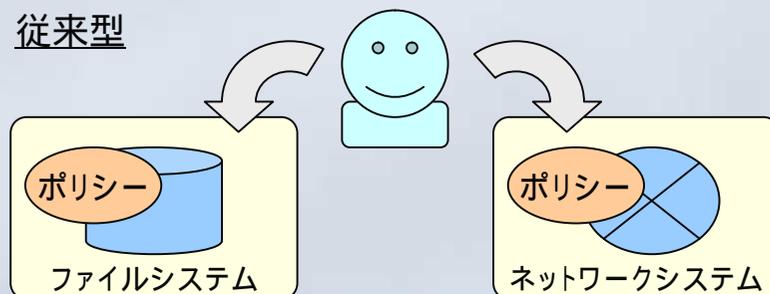
- “情報”は無形の資産
  - 何かに格納される / 何かを通じて他の利用者に送信される
- 格納手段 / 通信手段とは独立な、一貫したアクセス制御が必要
- アクセス権を“任意に”設定されては困る
  - 勝手に“機密情報”を公開扱いにされちゃったら？
  - アクセス制御の“例外扱い”なユーザが存在しちゃったら？



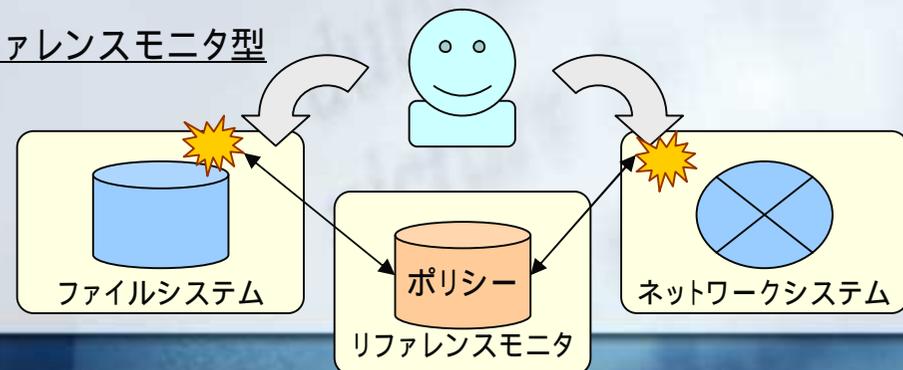
# リファレンスモニタ

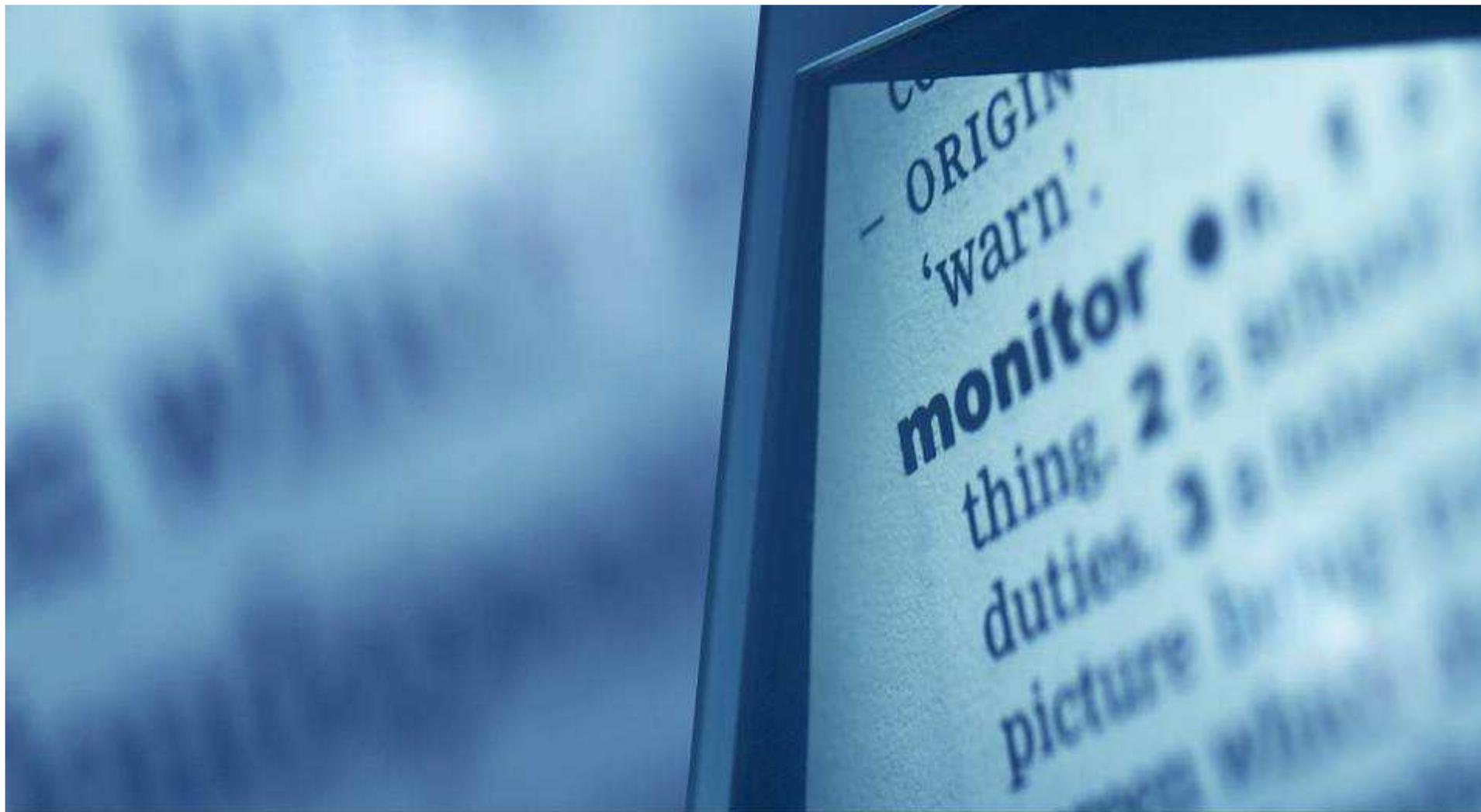
- リファレンスモニタとは
  - 利用者がシステム資源にアクセスする際に、これを漏れなく捕捉し、その可否をセキュリティポリシーに従って一元的に決定するモジュール
  - 情報フロー制御の実現のために必要なアイデア
    - アクセス制御の"漏れ"となるプロセス間通信手段が存在してはならない
    - アクセス制御の意思決定が、プロセス間通信手段に依存してはならない
  - リファレンスモニタの3要件
    - Always Invoked... 資源へのアクセスの度に、常にチェックが行なわれる
    - Tamper Proof ... それ自身が改ざんから保護されている
    - Small Enough ... それ自身のバグを検証可能である

従来型



リファレンスモニタ型

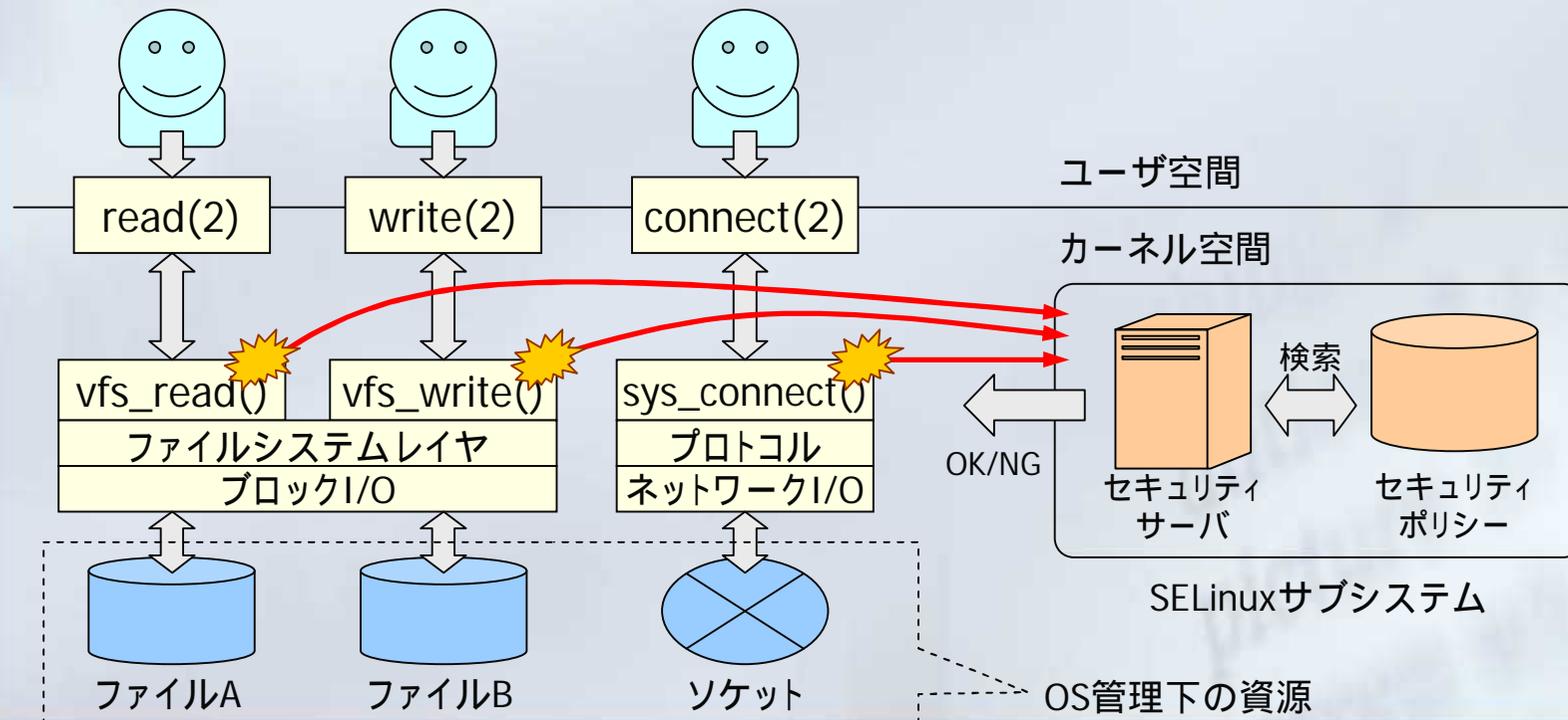




じゃ、SELinuxとの関係はどうなのよ？

# SELinuxとは

- Linuxにおけるリファレンスモニタの実装
  - “資源”のアクセスには、“システムコール”呼出が必要
  - “システムコール”呼出をフックすれば、全ての資源に対するアクセスを捕捉できる



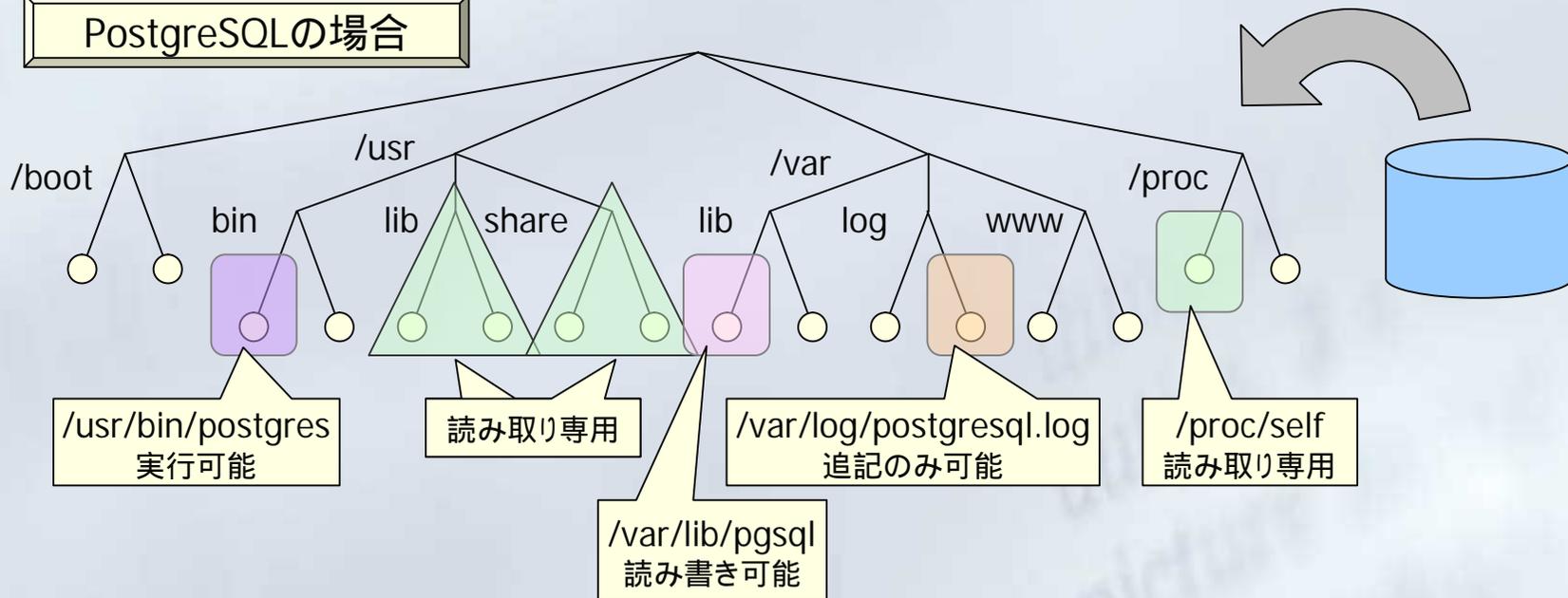
# SELinuxのアクセス制御方式

- じゃあ、どうやって白黒つけるの？
- アクセス制御モデル
  - TE(Type Enforcement)
    - プログラムのアクセス可能なリソースの範囲に"枠"を作る
      - ➡ 操作対象は"枠"の内側か？外側か？
  - MLS(Multi Level Security)/MCS(Multi Category Security)
    - 上下関係を持つ"機密レベル"
    - 包含関係を持つ"機密区分"
    - ➡ この2つの制約条件を満たすか、否か？
  - RBAC(Role Based Access Control)
    - TEと密接に関連した方式で、難易度は高め。
    - 今回は説明から外します...

# Type Enforcement

- プログラムごとに、利用可能な資源を絞り込む
  - 保有する"情報資産"を少なくする。
  - クラッカーの"攻撃手段"を少なくする。

PostgreSQLの場合

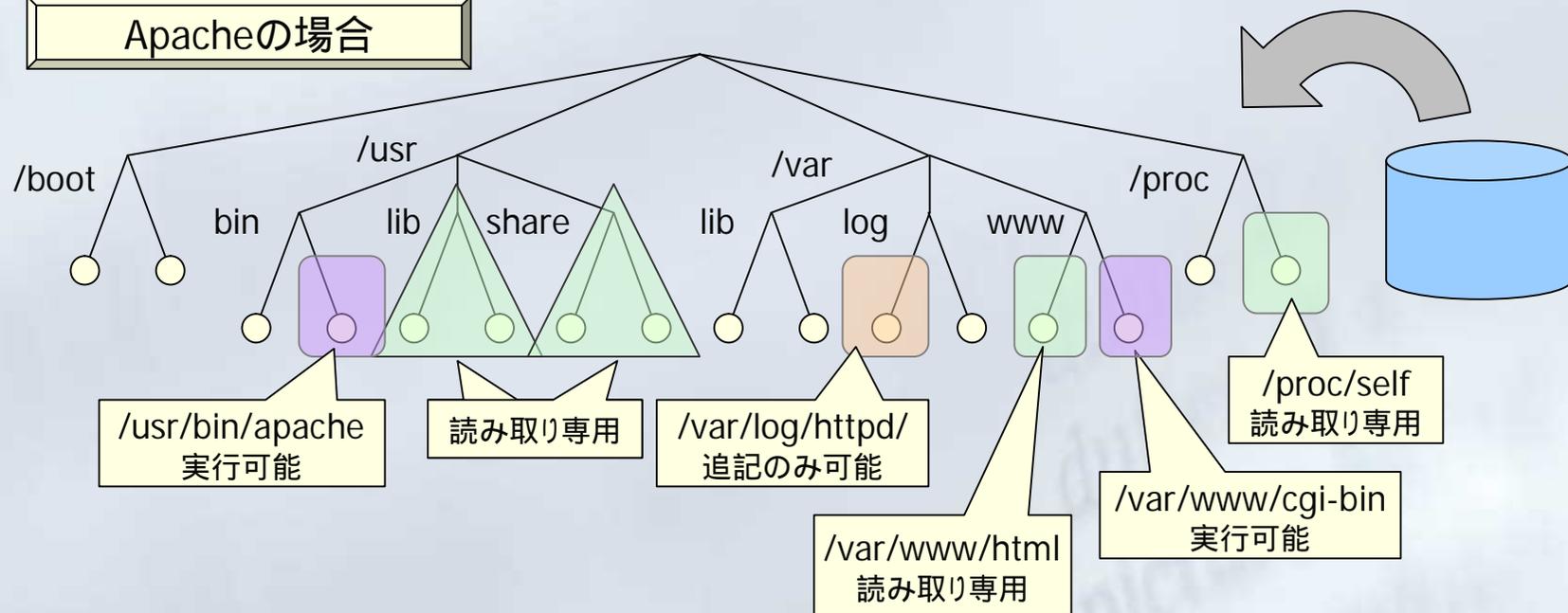


明示的に許可した資源だけをアクセス可能(ホワイトリスト方式)

# Type Enforcement

- プログラムごとに、利用可能な資源を絞り込む
  - 保有する"情報資産"を少なくする。
  - クラッカーの"攻撃手段"を少なくする。

## Apacheの場合



明示的に許可した資源だけをアクセス可能(ホワイトリスト方式)

# セキュリティコンテキスト

プロセス) system\_u : system\_r : httpd\_t : s0

ファイルなど) system\_u : object\_r : postgresql\_db\_t : s0:c0

ユーザ名

ロール

タイプ(ドメイン)

MLSラベル

## ■ タイプ/ドメイン

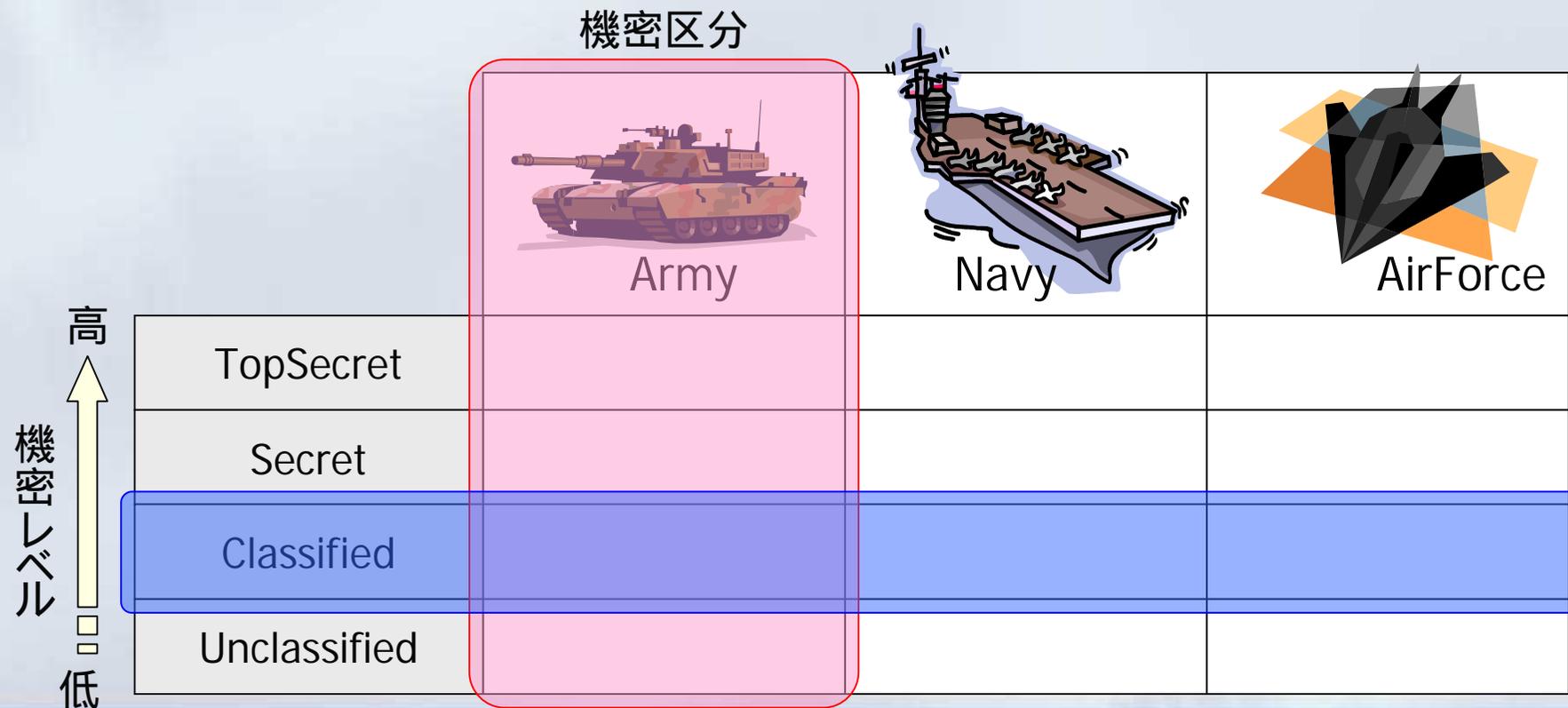
- プロセスの場合には「ドメイン」と呼びます
- あるドメインから見て「読み取り専用」「追記のみ可能」etc...を示す識別子
- この辺の対応関係は、全てセキュリティポリシーで記述されている

## ■ MLSラベル

- 機密レベルと機密区分を示す
- 軍用システムに由来する、最も伝統的な“強制アクセス制御”

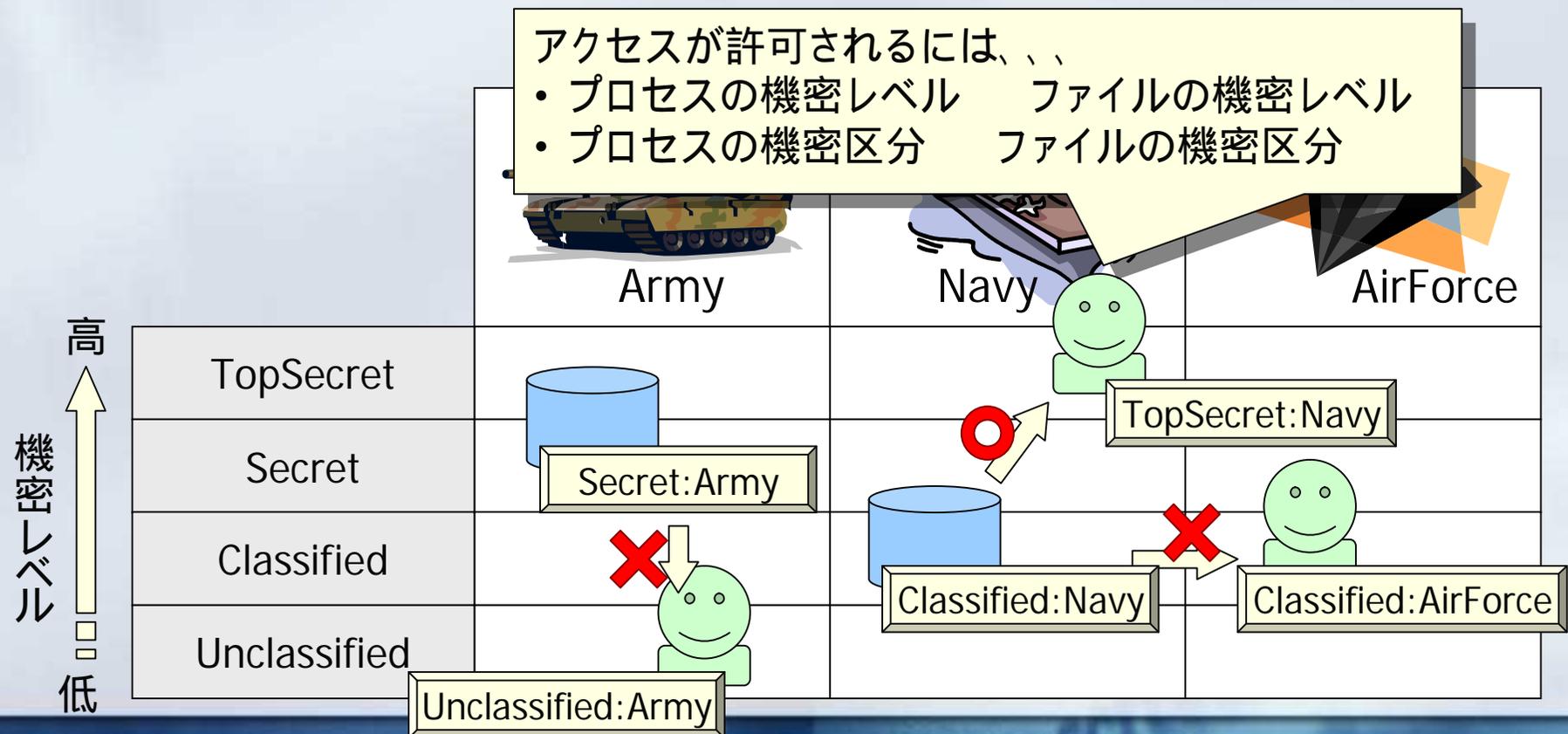
# Multi Level/Category Security

- "情報の流れ"を制御する
  - 『機密レベル』の高い情報を、低い所へ流さない
  - 『機密区分』の壁を越えて情報を流さない



# Multi Level/Category Security

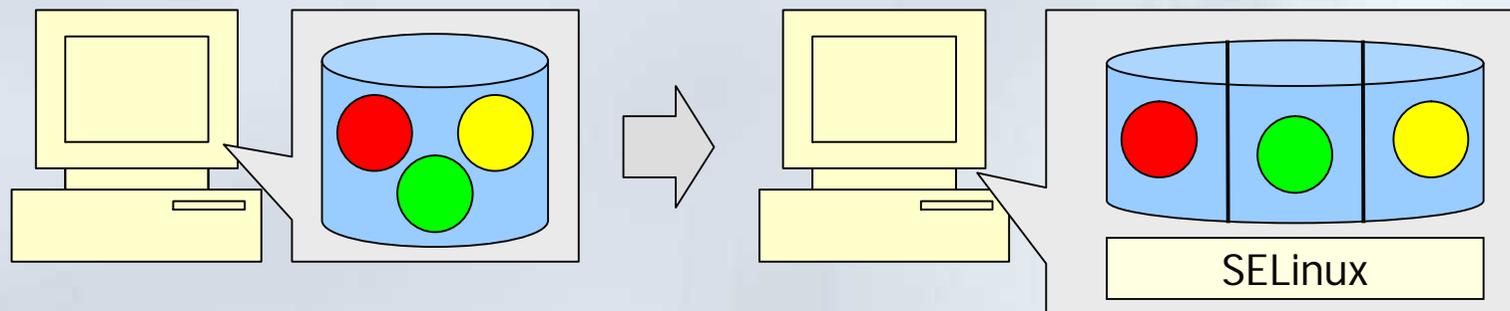
- "情報の流れ"を制御する
  - 『機密レベル』の高い情報を、低い所へ流さない
  - 『機密区分』の壁を越えて情報を流さない

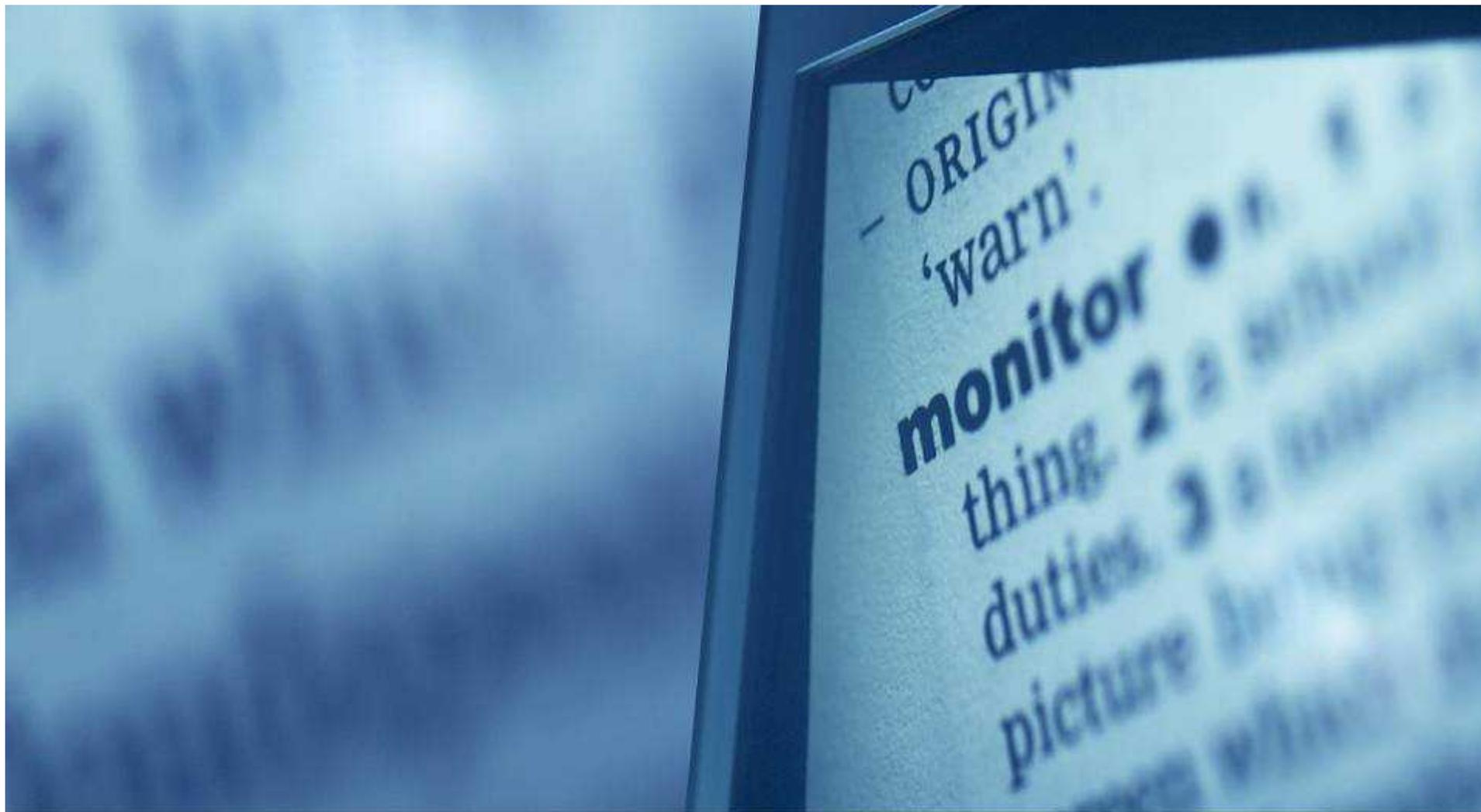


# 結局、どういう事？

諺：全ての卵を同じ籠に入れるな

- SELinuxは**強制アクセス制御**を提供する
  - TEやMLS/MCSによって、"情報資産"を論理的な壁の中に閉じ込める
    - 仮に一箇所が突破されたとしても、被害を局所化できる
    - 利用可能な資源を限定する事で、攻撃自体が難しくなる
  - "論理的な壁"の一貫性
    - リファレンスマニタとセキュリティポリシーのモデル





で、SELinuxは“アリ”なのか？

# ポリシーの作成が難しい！...？

```
masu.myhome.cx - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
#
# postgresql Local policy
#
allow postgresql_t self:capability { kill dac_override dac_read_search chown fowner fsel
tid setuid setgid sys_nice sys_tty_config sys_admin };
dontaudit postgresql_t self:capability { sys_tty_config sys_admin };
allow postgresql_t self:process signal_perms;
allow postgresql_t self:fifo_file { getattr read write ioctl };
allow postgresql_t self:file { getattr read };
allow postgresql_t self:sem create_sem_perms;
allow postgresql_t self:shm create_shm_perms;
allow postgresql_t self:tcp_socket create_stream_socket_perms;
allow postgresql_t self:udp_socket create_stream_socket_perms;
allow postgresql_t self:unix_dgram_socket create_socket_perms;
allow postgresql_t self:unix_stream_socket create_stream_socket_perms;

manage_dirs_pattern(postgresql_t,postgresql_db_t,postgresql_db_t)
manage_files_pattern(postgresql_t,postgresql_db_t,postgresql_db_t)
manage_ink_files_pattern(postgresql_t,postgresql_db_t,postgresql_db_t)
manage_fifo_files_pattern(postgresql_t,postgresql_db_t,postgresql_db_t)
manage_sock_files_pattern(postgresql_t,postgresql_db_t,postgresql_db_t)
:
```

# ポリシーの作成が難しい！...？

## ■ 某社アンチウイルスソフトのパターンファイル

The screenshot shows a hex editor window titled "hgBed - [C:\Program Files\Trend Micro\VB2007\_1530\_1239\Setup\Pattern\Ipt\$vpn.373]". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "検索(S)", "表示(V)", "設定(O)", and "ヘルプ(H)". The toolbar contains various editing icons. The main window displays a hex dump for the file "Ipt\$vpn.373". The columns are labeled "address" and "00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0E 0F 0123456789ABCDEF". The data is shown in hexadecimal and ASCII. A yellow callout bubble with a jagged border is overlaid on the bottom right of the hex dump, containing the text: "基本的に、エンドユーザが編集するものではない！".

address	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F	0123456789ABCDEF
00C0:3800	00	00	C8	8C	27	EE	FE	FF	E7	FE	FF	66	C6	90	61	FC	..ネ.....f神φ
00C0:3810	FF	FF	FF	FF	FF	FB	7B	A5	D4	C4	FC	FF	FB	FE	FF	FF	.....碌・ヤト・...
00C0:3820	EB	5B	3F	0F	16	D6	FF	86	89	C5	8C	45	86	3E	5B	00	・?...ヨ・ナ窪・[.
00C0:3830	00	55	43	EF	D2	FE	FF	E7	FE	FF	16	84	24	F2	FC	FF	.UC・■.....
00C0:3840	FF	FF	FF	FF	FB	AE	D9	7A	2C	FC	FF	FB	FE	FF	FF	EB	....頼ルz,.....φ
00C0:3850	D9	92	AD	60	D6	FF	86	89	C5	8C	94	22	3E	5B	00	98	湖兆`ヨ・ナ券">[.φ
00C0:3860	FC	63	CA	CA	FE	FF	8F	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FC	FF	FF	・ル■.....
00C0:3870	FF	FF	FF	FB	0B	60	D7	BB	FC	FF	93	FF	FF	FF	FB	FF	...・`ラ.....
00C0:3880	FF	FF	FF	DF	FF	86	89	C5	8C	81	A9	3C	5B	00	DA	32	...°・ナ戦ウ[.l2
00C0:3890	55	34	C9	FC	FF	D5	FF	FF	FF	F1	7F	81	B3	EA	FC	FF	U4ノ・ユ.....
00C0:38A0	FF	FF	FF	FF	FB	23	C3	13	36	DF	FF	86	89	C5	8C	81	....・テ.6°・ナ戦
00C0:38B0	A9	3C	5B	00	DA	32	55	34	C9	FC	FF	D5	FF	FF	FF	F1	ウ[.l2U4ノ・ユ...φ
00C0:38C0	1C	64	6C	34	FC	FF	FF	FF	FF	FF	FB	7B	2C	65	D5	DF	d14.....碌・ユ°
00C0:38D0	FF	86	89	C5	8C	81	A9	3C	5B	00	DA	32	55	34	C9	FC	...
00C0:38E0	FF	D5	FF	FF	FF	F1	A2	C1	65	22	EC	FF	FF	FF	FF	FF	...
00C0:38F0	FB	C7	B9	45	4B	D4	FF	4A	20	A2	FF	FF	FF	FF	FF	FF	...
00C0:3900	1C	64	6C	34	FC	FF	FF	FF	FF	FF	FB	7B	2C	65	D5	DF	...

# SELinuxポリシー体系

## ■ 3種類の異なるポリシー

- Targeted Policy
  - Strict Policy
  - MLS Policy
- 
- ゆるい  
厳しい

## ■ Targeted Policy

- FedoraやRedHatEL、CentOSでの標準ポリシー
- ユーザのシェルなどは今まで通り
  - 全部許可する = unconfinedドメイン
- 特定のサーバプロセスだけを保護
  - 対象を絞っている = Targeted

# SELinuxの"カスタマイズ"

## ■ booleanの変更

### ■ boolean

=セキュリティポリシーの一部を有効化/無効化するためのスイッチ

- 意味のあるまとまりを単位としてポリシーを修正できる

## ■ ファイルの"タイプ"を変更する

- 標準のインストールパスを変更

- 『読み込み専用』 『読み書き可能』へ属性を変更

## ■ MCSを利用する

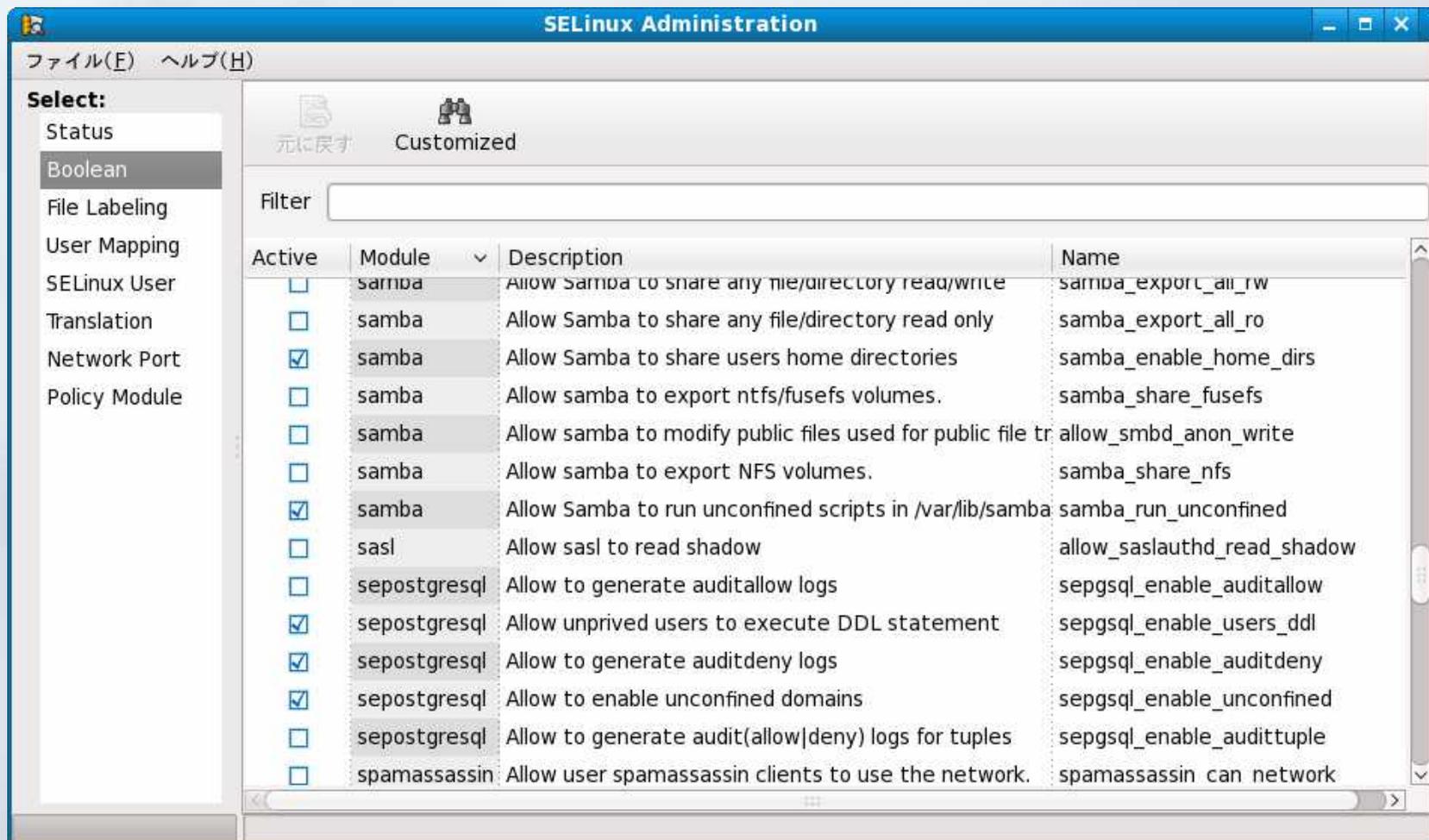
- 独自の"機密区分"を設定する事ができる

- 人に読みやすい"別名"を付ける事ができる

➡ system-config-selinuxで設定できるんです。

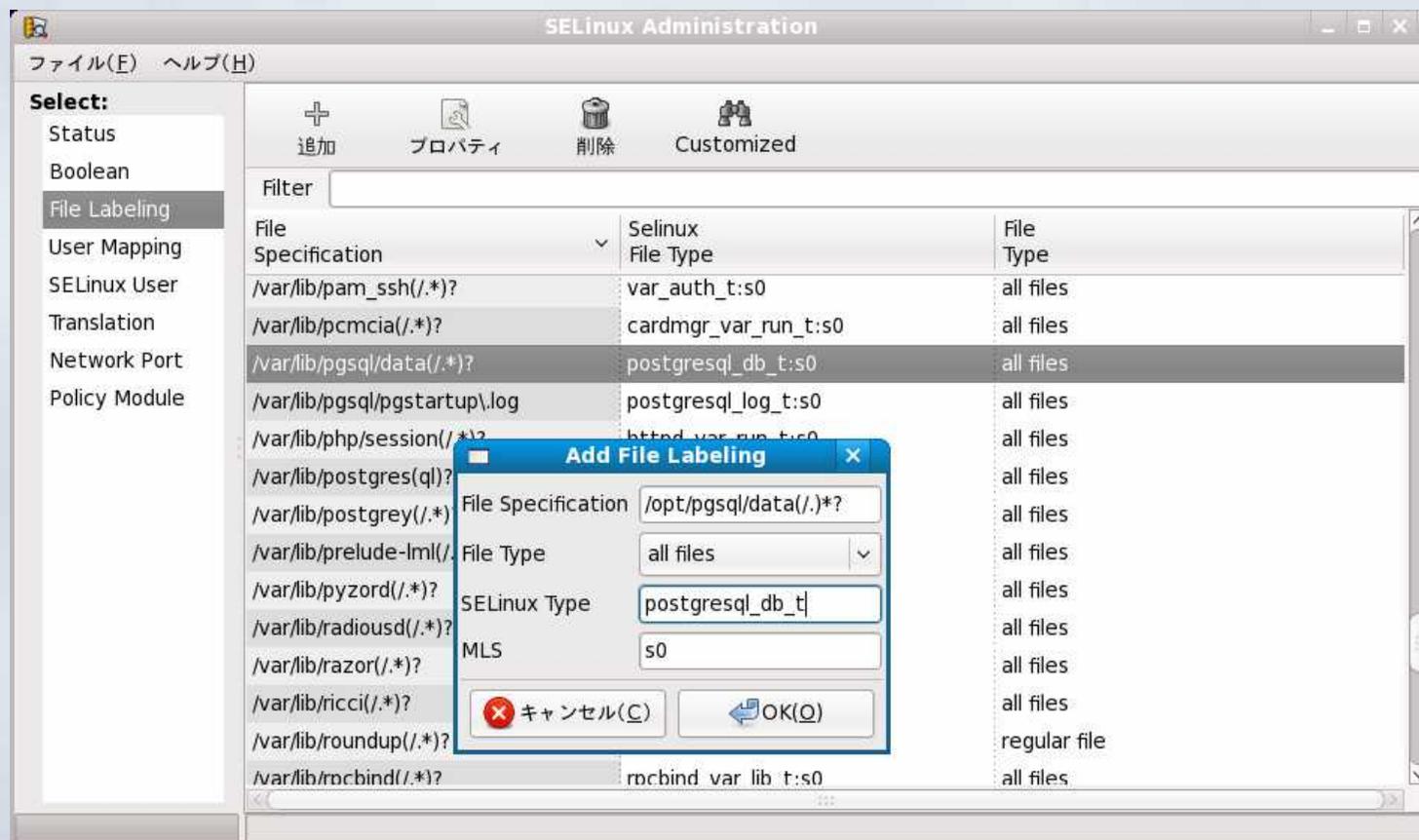
# system-config-selinux

- GUIでbooleanのカスタマイズが可能



# system-config-selinux

- ファイル/ディレクトリの"タイプ"を変更することができる
  - 標準のインストールパスを変更する
  - 『読み込み専用』 『読み書き可能』なタイプに変更する



# system-config-selinux

- 各ユーザの"機密区分"を指定できる
- "機密区分"に、読みやすい名前を付けることも可能
  - 『s0:c0.c3』なら『TopSecret』という具合



# SELinuxでトラブルに遭ったら？

- setroubleshoot
  - ログを解析して、トラブル解決のためのヒントを提示
- ポリシーモジュールの自動生成
  - “最終手段”、ポリシーの修正。
- 詳しい人に聞いてみよう
  - ユーザコミュニティのご紹介

# setroubleshoot

既知の問題点であれば、DBの中から予想される対処方法を検索し、ユーザに提示する。

何かSELinuxが"アクセス拒否"をした場合、ポップアップで通知



Quiet	Date	Host	Count	Category	要
<input type="checkbox"/>	2008年01月22日 18時21分54秒	saba.linux.bs1.fc.nec.co.jp	1	ファイルラベル	SE
<input type="checkbox"/>	2008年01月22日 18時21分54秒	saba.linux.bs1.fc.nec.co.jp	1	<不明>	SE
<input checked="" type="checkbox"/>	2008年01月22日 18時30分49秒	saba.linux.bs1.fc.nec.co.jp	1	SAMBA	SE
<input type="checkbox"/>	2008年01月22日 18時30分49秒	saba.linux.bs1.fc.nec.co.jp	1	ファイルラベル	SE
<input type="checkbox"/>	2008年01月22日 18時30分50秒	saba.linux.bs1.fc.nec.co.jp	1	ファイルラベル	SI

**要約**  
SELinux is preventing the samba daemon from reading users' home directories.

**詳細説明**  
[SELinux in permissive mode, the operation would have been denied but was permitted due to enforcing mode.]

SELinux has denied the samba daemon access to users' home directories. Someone is attempting to access your home directories via your samba daemon. If you only setup samba to share non-home directories, this probably signals a intrusion attempt. For more information on SELinux integration with samba, look at the samba\_selinux man page. (man samba\_selinux)

**アクセスを許可**  
samba がホームディレクトリを共有するようにしたい場合は、samba\_enable\_home\_dirs ブーリアン値を設定する必要があります: "setsebool -P samba\_enable\_home\_dirs=1"

次のコマンドがこのアクセスを許可します:  
setsebool -P samba\_enable\_home\_dirs=1

**追加情報**

ソースコンテキスト: system\_u:system\_r:smbd\_t:s0  
ターゲットコンテキスト: kaigai:object\_r:user\_iceauth\_home\_t:s0  
ターゲットオブジェクト: /home/kaigai/.ICEauthority [ file ]  
Source: smbd(/usr/sbin/smbd)  
Port: <不明>  
Host: saba.linux.bs1.fc.nec.co.jp  
Source RPM Packages:

Audit Listener 266/266

# ポリシーモジュールの自動生成

(警告) これは最終手段です

```
# cat /var/log/audit/audit.log | audit2allow -m hoge -o hoge.te
```

Auditログから、SELinuxアクセス拒否を抽出  
拒否されたパターンを"全て許可"するポリシーを自動生成

```
# make -f /usr/share/selinux/devel/Makefile hoge.pp
```

生成されたポリシーを、モジュール形式でビルド  
(\* selinux-policy-develパッケージが必要)

```
# semodule -i hoge.pp
```

Policy Packageをインストール

# 一番手っ取り早い方法

- 詳しい人に聞く。
- [selinux-users@selinux.gr.jp](mailto:selinux-users@selinux.gr.jp) には、詳しい人が沢山居ます。



- 質問するときのヒント
  - よく分からないけど動かない！ ×
  - こんな情報を付けてくれると嬉しいです。
    - ディストリビューションの種類
    - /var/log/audit/audit.log の内容
    - selinux-policy のバージョン
    - sestatus -a, getsebool -a, semodule -l の出力結果

# まとめ

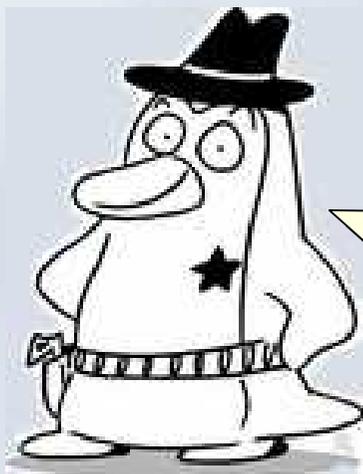
- セキュリティの考え方
  - “脆弱性” と “情報資産”
  - SELinuxは “アクセス制御” を強化するための機能
  - OSの中に壁を作ること、
    - 区画(ドメイン)の持つ“情報資産”を減らします
    - 攻撃に使える道具を縛ることで“脆弱性”を減らします
  - そのためのモデルが、TEやMLS/MCS、RBAC
- SELinuxってどうよ？
  - 発想を転換しよう
    - ポリシーを書くのは難しい？ 自分で書くから難しい
  - カスタマイズ ... system-config-selinux
  - トラブルの手助け ... setroubleshoot、audit2allow
  - 最後に頼りになるのは？
    - ➡ 日本語で質問できるユーザコミュニティ

# 業務連絡

- セキュアOS車座集会

- 於:2F 日本セキュアOSユーザ会ブース
- セキュアOSを肴に、ワイワイガヤガヤ...

- 引き続き、この教室で下記セミナーが開催されます



14:00 ~ 14:45

TOMOYO Linuxのある暮らし

~ Linux の勉強からセキュリティ強化まで ~

講師: 武田健太郎